

2020.2.16 福祉講演会
「血圧と食事と運動について」

【主催】ふれあいネットワーク 一の部(三国町)

【後援】坂井市社会福祉協議会みくに支部

「血圧って何？」

皆さん答えられますか？

「血圧」とは、血管内の血液の有する圧力のことで、一般的には動脈の血圧のことで、心臓の収縮期と拡張期の血圧を言います。

単位は水銀柱ミリメートル(mmHg)を使用することがほとんどです。

当院 内科 石坂泰三医師が100年人生と言われている昨今、「100年間一度も休まず働き続ける心臓の大変さをわかってあげてください」から始まり、血圧が高いとはどういう状態なのか、心臓の負担を減らすためにはどのようなことに気をつけなければならないのかなど、日用品や玩具を使って、わかりやすく講演しました。

雨の中、50名近くの住民の方々にお集まりいただき、高血圧症の危険性を含めた生活習慣病についての基礎知識を解説し、皆さんに喜んでいただくことができました。ありがとうございました。

ご要望があれば、皆さんの町におじゃまして、お役に立てればと考えています。

一度、ご相談ください。



2020.4.27 院内研修
新型コロナウイルス感染症に関する最新情報

新型コロナウイルスの概要や、今では耳慣れしている「クラスター対策」、「濃厚接触者調査」、「咳エチケット」、「手洗い、手指衛生」など最新の情報を、福井大学医学部附属病院で感染対策を先導されている岩崎博道教授から、直接指導していただきました。

医療従事者として必要な個人防護具の着け方・外し方も、再学習しました。

医療従事者として、自ら身を守り、皆さんの医療を守るよう、院長を先頭に職員一同がんばっています。



column

こんにちは、^{しよま}渡江です。最後までお読みいただきありがとうございました。シーグリー Vol.2 はいかがだったでしょうか。

前回の発行の際、私は怪我をしていました。その時患者としてリハビリを受けていましたが、今回の特集はそのリハビリテーション科です。当院のリハビリテーション科を十分にご覧ください。

今年の春、中国で発生した新型コロナウイルスによる肺炎が猛威を振るい、福井県でも感染者数が増加の一途をたどる時期がありました。当院でも院内感染を防ぐためICTチームを中心に連日対策会議を繰り返していました。限られた物資を有効活用して感染を防止するため、会議は時に激しく、時に涙を流し激論を続けてまいりました。そのICTチームの努力があったからこそ、診療を続けながらここまでたどり着くことができました。

しかしこれで終わりではありません。当院はここで手を緩めることはなく、第二波の発生に備え準備をしています。皆様の健康を守るため、職員一丸となりこの困難に向かっていきたいと思っています。

Seaguliy

坂井市立三国病院 広報紙

02
2020.07

シーグリーとは、市の鳥カモメ(seagull)と市の花ユリ(lily)を合わせた造語。ユリの花言葉のように純粋・無垢に患者様と向き合います。

お知らせ

三国病院では、県からの通達に基づき、6月8日(月)より通常診療体制としており、発熱症状のある患者様も原則従来通りの診察を行っております。同時に第2波発生時を想定しての対策を講じながら、皆様が安心して受診できますよう努めてまいります。

地域包括ケア病棟

ーリハビリを中心とした支援を行うー



理学療法士による階段練習風景
自宅退院に向けてリハビリ中



晴れた日には屋外で気持ちよくリハビリできます。
太陽の下では、スタッフとの会話も弾み和やかにリハビリしています。

● 地域包括ケア病棟とは…？

入院治療後に病状が安定した患者様に対してリハビリを行いながら在宅や介護施設への復帰を支援するための病棟です。最大60日を上限として医師・看護師・リハビリ・社会福祉士など多くの職種が患者様やご家族と協力して退院調整を行っています。

● 地域包括ケア病棟でのリハビリはどんなことをするの…？

当院では病棟専従療法士の他、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が協力し在宅や介護施設へ復帰するための課題や目標をご本人やご家族と共有して集中的にリハビリを行っています。また、在宅復帰をされる際に、必要に応じて家屋の内外の段差や手すりの位置、福祉用具の選定などの家屋調査を事前に実施しています。退院後も長く能力を維持できるように、ご家庭でできる自主練習の指導なども行っています。

その他、定期的に医師、リハビリスタッフをはじめ退院支援に関わる職

種がカンファレンスを開催し、よりよい状況で退院していただけるよう連携を図りながら支援しています。

● リハビリはどんな役割を担っているの…？

リハビリスタッフは下記の3職種在籍しています。

● 理学療法士 4名

起きる、立つ、歩くといった日常生活動作を中心に、段差の上り下りや移動距離の確保など患者様の生活状況に合わせた練習を行っています。

● 作業療法士 2名

日常生活で行う動作、着替え、排泄、入浴、家事など、その人の能力に合わせて自宅や施設的环境なども考慮しながら練習をします。

● 言語聴覚士 1名

失語症や構音(こうおん)障害を生じた方に対するコミュニケーション訓練や、飲み込みが困難となった方に対して、機能評価や適切な食事形態の選定、飲み込みの訓練なども行っています。また、自宅に戻るに

当たり、ご家族様へ食事の調理方法やとろみの指導を実施しています。

当院では外来リハビリテーションも実施していますので、退院後、必要な患者様は引き続き身体面や日常生活面のフォローも可能です。



言語聴覚士によるとろみ指導の様子



患者さんのご自宅に向いて、段差など詳しく調べることも行います。



看護部長あいさつ



看護部長 やま こし 山越 せつ こ 節子

令和2年4月1日付で、坂井市立三国病院の看護部長を拝命いたしました山越と申します。私は、40年余り大学病院で勤務してまいりました。大学病院では患者さんの在院日数が年々短縮され、急性期を回復されたかと思うとすぐ転院となるため、「あの方は自宅退院できただろうか」「医療処置が自宅でもできただろうか」など、自分の行ってきた看護の結果がわからないもどかしさを感じる事が多々ありました。そこで、今までの経験を活かし、急性期を脱した患者さんの在宅生活の支援など、地域に密着した三国病院での看護に挑戦する決心をいたしました。

この病院にお世話になりまだ2か月余りですが、急性期から看取りの看護まで、老年看護から小児科・産科・透析・がん看護とその幅は広く、公立病院として役割を果たしており、看護師は使命感を持って看護していると感じております。また、コロナは今後どうなっていくだろうかとの不安を抱えながらの着任でしたが、職員間のコミュニケーションが良く連携が取れており、職員一丸となって対応に奮闘しております。

今後は、地域との連携を意識しながら、患者さん・ご家族の意向を尊重した退院支援を推進すること、幅広い疾患の患者さんに質の高い看護が提供できるよう看護師の教育体制を充実すること、患者さんに一番近い所で働く看護職員が働きやすくやりがいのある職場づくりに努力していきたくと思っています。何卒よろしく願い申し上げます。



地域医療に貢献し地域のみなさまから信頼され、
三国病院で看てもらってよかったと
思っていただけのように努力していきます。

感染対策チーム (infection control team : ICT) 紹介

日頃より、当院の感染対策にご理解とご協力ありがとうございます。

当院では院内の感染管理を感染対策チーム (infection control team:ICT) が担っています。

ICTとは医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、事務職員でそれぞれの専門性を発揮し、院内の感染防止を強力かつ円滑に実行することを目的としたチームです。活動内容は院内および地域内感染発生状況の把握とその対応、感染対策の遵守状況の評価、感染防止の教育、その他地域関連病院とのネットワークを構築し、地域ぐるみで感染防止を推進することです。

ご存じのように2019年末に中国武漢で発生して以来、世界中に広がった新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)。4月に入り急激な感染者の発症で「福井県緊急事態宣言」が発令された時には院内にも持ち込まれないか不安と恐怖を感じました。6月半ばには最後の入院患者も「0」となり、皆様もひとまず落ち着きを取り戻しているところだと思います。ただし、今後また第2波が訪れ大流行するのではな



いかという懸念もあり、油断せず院内感染が起こらないよう、皆様に安全で安心な医療を提供できるよう、スタッフ全員で感染対策の徹底に努めていきたいと思っています。

面会制限や入館時の検温など皆様にはご不便とお手間をおかけすることもあると思いますが、今後も手指衛生や咳エチケットなどの感染対策にご協力をお願いいたします。



透析室紹介

地域の医療機関関係者並びに福祉施設関係者の皆様には、日頃より当院の血液浄化センターに御理解、御協力を賜り心よりお礼申し上げます。

室内の窓から見える景色は、えち鉄の電車が通り緑に囲まれたのどかな環境です。

当院では看護師7名、臨床工学技士2名、看護補助者で透析業務を行っています。

コンソール16台、ベッド数15台。火・木・土は1部ですが2017年から月・水・金で2部透析を再開し患者様の受け入れを徐々に増数している現状です。

2019年10月から部門システムを導入し、透析機器の安



全確保及び、透析看護におけるアシストをシステム面からも行っています。現在は透析治療の種類においてもHDだけでなくO-HDFやI-HDFといった治療法を行い、患者様に合わせた治療を提供しています。

治療に欠かせない透析液に関しても、水質を管理することで安全性を保ちつつ、透析で使用する機器同士の連携もできるようになっており、患者様にはより安全な治療となっています。

血液を体外循環する治療なので、安全確保と感染対策に注意すると共に、エンドレスな治療にストレスを抱えた患者様のメンタルケアを行っています。また、透析中だけでなく、患者様自身が自己管理方法が見いだせるように生活指導も行っています。

透析治療歴が長く、社会的背景が複雑な患者様が増えています。信頼関係を維持しながら看護を提供しています。

今後も、患者様を1人でも多く受け入れ、各々が専門職として能力を発揮していくことを意識し業務にあたりたいと考えております。

これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。